

1 施設概要

施設名	高知市東部総合運動場	施設所管課	スポーツ振興課
指定管理者名	公益財団法人高知市スポーツ振興事業団		
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日	公募・指名の別	指名
設置目的	高知市の体育施設の一元的な管理運営と生涯スポーツの普及・振興を図る。 市民の健全なスポーツ、レクリエーション及び健康増進に寄与するため。		
業務内容	1. スポーツ施設の管理運営全般(施設利用許可含む) 2. 施設使用料の徴収事務 3. スポーツ振興に関する自主事業実施		
施設内容	・多目的グラウンド ・体育センター ・野球場 ・投球・打撃練習場 ・テニスコート(16面) ・多目的ドーム(ドーム・会議室) ・くろしおアリーナ(25m温水プール, 幼児プール, ジャグジー, 50mプール, トレーニング室, ランニング走路, 会議室) ・駐車場, 緑地公園		
職員体制	常勤職員 14人	非常勤職員 0人	契約社員 0人
	パート職員 0人	アルバイト 0人	その他 0人
	合計		14人

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	平成 27 年度 (1 年目)		平成 28 年度 (2 年目)		平成 29 年度 (3 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
事業参加者満足度(点)	3.70	-	3.70	3.63	3.70	3.68
施設利用者満足度(点)	3.50	4.00	3.55	4.30	3.60	4.20
事業参加者数(人)	1,900	2,144	2,100	2,560	2,300	2,888
施設利用者数(人)	265,000	280,147	266,500	303,179	268,300	307,146
施設利用率(パーセント)	25.00 %	35.51 %	25.50 %	33.17 %	26.00 %	33.82 %
施設使用料収支率(パーセント)	20.00 %	22.63 %	20.69 %	21.83 %	21.00 %	23.18 %
目標値に対する達成状況について			事業参加者満足度:4点満点でアンケートを実施。「申込の容易さ」「教室のPR」等の要因により目標を下回った。 施設利用者満足度:維持管理業務基準以上の清掃作業の影響もあり高評価となった。 その他韓国プロ野球春季キャンプの規模が縮小したが,利用者は前年以上の水準を確保できた。	事業参加者満足度:「指導内容の分かりやすさ」「指導者の対応の親切さ」の評価が高く,高い水準で指導できた。 施設利用者満足度:従来からの満足度水準を提供でき,「施設」「設備・備品」「施設スタッフの対応」の3項目で4以上の評価を受け,総合評価は4.2となり目標値を達成できた。		

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)	
利用者数	280,147 人	303,179 人	307,146 人	
利用者数:対前年度比	105.4 %	108.2 %	101.3 %	
開館日数	360 日	359 日	359 日	
利用率	野球場	38.71 %	32.84 %	43.25 %
	多目的グラウンド	29.48 %	25.02 %	22.63 %
	打撃練習場	28.99 %	22.55 %	24.73 %
	投球練習場	22.83 %	14.11 %	15.96 %
	テニスコート	35.04 %	35.50 %	34.99 %
	体育センター	83.70 %	85.45 %	83.67 %
	多目的ドーム	- %	- %	44.97 %
	多目的ドーム会議室	- %	- %	10.62 %
	アリーナ体育館	51.58 %	52.79 %	53.63 %
	会議室	11.22 %	13.53 %	12.70 %
利用状況についての評価		<p>打撃練習場・テニスコートは部活動等の利用増があった。打撃練習場については、前年の利用状況(ハンファ・イーグルス春季キャンプ時の打撃練習場の利用はほぼ無し)に対し、伊予銀行ソフトボール部(2月春野キャンプ・選手16人/12日間)の夜間練習、部員が約20人増えた大阪経済大学硬式野球部(3月キャンプ・選手114人/10日間)による全部員の打撃練習、その他団体の利用があった。アリーナ体育館の利用者数減は、バスケットボール大会の減、床転換システム制御部品の交換に伴う営業日数減が主要因である。プールは全国大会の開催や高齢者数増(2,388人増)、トレーニングルームは同様に高齢者数増(2,484人増)が要因で、大幅な増加となった。利用率の減少は、韓国プロ野球春季キャンプが2軍のみで総合運動場に移動したため、野球場・多目的グラウンド・打撃練習場・投球練習場の利用減となった。</p>	<p>多目的ドーム(H29.9.12供用開始。開館日数195日)の純増分(14,966人増)に伴い、総利用者数は増加(3,967人増)となり、目標値を達成できた。利用率は、新規の大学合宿が開催された野球場・打撃投球練習場で大幅増があり、目標値を達成できた。</p>	

※ 利用率の算定方法: $利用率 = 使用数 \div 使用可能数$
 仮にテニスコートの場合、実際の使用数(各コートごとの使用時間)を使用可能数(コート面数×1日の使用可能時間×日数)で除した数が利用率となる。

4 収支状況(指定管理者記入欄)

単位:千円

		平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)
収入	指定管理料	208,795	213,516	221,756
	利用料金収入	0	0	0
	自主事業収入	1,012	1,234	1,340
	その他収入	276	267	708
	収入計	210,083	215,017	223,804
支出	人件費	46,558	46,416	47,159
	光熱水費	43,029	43,137	49,823
	保険料	1,091	1,042	1,223
	委託料	88,024	94,706	95,968
	修繕費	13,280	9,385	9,414
	事業費	14,164	16,279	16,266
	消費税及び地方消費税	3,538	3,521	3,874
	その他の公課費	119	159	77
	事業所税	0	0	0
	その他	280	372	0
	支出計	210,083	215,017	223,804
差引収支 (収入計-支出計)		0	0	0

※ 施設使用料等収入については、高知市の収入とし、利用料金制度は導入していない。
 ※ その他収入のうち4千円は、コピー料収入から充当。

5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

		平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)
①	利用料金比率	0.0 %	0.0 %	0.0 %
②	指定管理料比率	99.4 %	99.3 %	99.1 %
③	人件費比率	22.2 %	21.6 %	21.1 %
④	利用者1人当たりの管理コスト	750 円	709 円	729 円
⑤	利用者1人当たりの高知市負担コスト	704 円	704 円	722 円
⑥	外部委託費比率	41.9 %	44.0 %	42.9 %

※【運営状況分析指標の考え方】

指 標	指 標 の 説 明
① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

		平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)
調査の実施内容	① 調査方法	-	アンケート方式(①施設利用者対象・②登録団体対象)	アンケート方式(施設利用者対象)
	② 調査期間	-	①通年, ②28年6~12月	通年
	③ 配布数	-	①50部, ②48部	45部
	④ 回収数	-	①50部, ②22部	45部
	⑤ 回収率	-	①100%, ②46%	100%
調査結果		-	5満点で実施した。①~③いずれも3点(満足)以上の評価を得た。特に①においては全項目で平均値4.2以上の高評価となった。	5点満点中、「施設について4.4」「設備・備品について4.2」「施設スタッフの対応について4.1」「看板・利用案内など3.9」の評価となり、総合評価は4.2で、目標値を達成できた。

7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況
平成29年4月30日(日)	駐車場がいっぱいで数が足りない。道路までいっぱい駐車されている。	以下の取組を継続実施。①年間調整会で、(最終結論は競技団体の希望であるが)混雑が緩和される調整を実施(アリーナ体育館の選手数の多い大会と、プール大会の重複回避等)。②定期巡回で路駐車両の誘導を依頼。③必要に応じて西堤を臨時駐車場として開放。④必要に応じて多目的広場を臨時駐車場として確保。
平成29年5月19日(金)	大変つかいやすいです。冷水機がもう一つくらいあれば助かります。	くろしおアリーナ男女更衣室に各1台ずつ既設。余剰スペースが無く、既設水道管の配置上、増設は困難である。
平成29年6月12日(月)	トレーニングルームの利用者が増えてきたので、やりたい器具がすぐできなくなりす。ウェイト式の器具一式をもう一台増やして下さい。ダンベラー式置いて下さい。	トレーニング機器の増設は余剰スペースが無く、また、ルーム内がガラス張り・フローリング構造のため、ダンベル等のフリーウェイトの設置は困難である。
平成29年8月1日(火)	高知県長寿手帳にも何らかの割引が欲しいです。	高知市長寿手帳による使用料免除を、プール・トレーニングルームに適用している。

8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

(1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3.0
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3.0
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3.0
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3.0
5 使用許可業務	条例に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われたか	3	3	3.0
6 施設の平等利用の確保	施設利用申請等に対する平等の確保策はとられているか	3	3	3.0
7 使用料	使用料の徴収・減免等の手続は適切に行われているか	3	3	3.0
8 保守点検業務・警備業務	保守点検業務・警備業務は適切に行われたか	3	3	3.0
9 清掃・維持管理業務	清掃、維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
10 廃棄物処理業務	廃棄物処理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
11 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3.0
12 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3.0
13 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	3.0
14 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	3.0
15 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3.0
16 利用者の安全確保対策	事故時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
17 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
18 個人情報保護に関する事	個人情報保護に関する対策は適切か	3	3	3.0
19 情報公開に関する事	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3.0
20 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3.0
配点60点(20項目×3点)		小計	60	60

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	4	4	3.0
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	4	4	4.0
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	3	3	3.0
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	4	3	3.0
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	4	4	4.0
6 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	4	4	4.0
7 事業の実施状況	事業は効果的に行われたか	4	4	4.0
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業が実施されたか	5	4	4.0
9 目標達成度	施設目的・課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取組はなされたか	3	3	3.0
配点45点(9項目×5点)		小計	35	33

評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	3.0
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	3.0
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	3.0
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3.0
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3.0
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15.0

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく経営がなされている。
2	概ね事業計画・収支計画等に基づく経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づく経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

9 自己評価・一次評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	配点に対する割合	一次評価 (施設所管課)	配点に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60 点	100 %	60 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	35 点	78 %	33 点	73 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	120 点	110 点	92 %	108 点	90 %

(2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
27	協定書・事業計画書等に定める管理運営は概ね実施できている。各種事業については、昨年度水準の開催数や参加者満足度を提供している。施設管理については、プロ野球秋季キャンプにおける警備や清掃・整備体制を確保し、継続的に安全面や衛生面等の充実を図る事ができた。また、指定管理料を有効活用し、くろしおアリーナ中央管制装置プール付帯機器の修繕や、プール可動床等設備機器の保全計画を実施し、営業への支障を回避する事ができた。さらに、体育館耐震工事が実施される地元中学校の部活動の受入調整を実施し、連携強化を図るとともに、アリーナの利用者数や施設稼働率の向上に努めた。
28	協定書・仕様書・事業計画書等に定める水準の管理運営は実施できている。各種事業については、昨年度水準の開催数や参加者満足度を提供できた。施設管理については、福祉用具等を設置し、利用者ニーズに対応するとともに、テニスコートや体育センターにAEDを新設、スロープ等の修繕によるバリアフリー補修計画の実施、防犯環境設定の追加導入(さすまた設置・こども110番のいえ表示等)、パッカー車へのバックカメラの設置等、安全管理の強化に努めた。また、職員研修においては、整備員の資質向上を図るため、「スポーツターフ管理者養成講習会」・「高所作業車運転技能講習」を受講し、プロ野球キャンプの水準に対応できるグラウンドコンディションを継続的に提供し、場内の樹木剪定を計画的に実施できた。さらに、「パッカー車安全運転研修」により事故の防止策を講じ、「地震避難場所運営研修」では追加購入をした備蓄品(防災用マット・アルミ毛布)への理解を深め、職員の危機管理能力を養った。
29	協定書等に定める管理運営は実施できている。各種事業は、昨年度水準の開催数や参加者満足度を提供するとともに、「第4次高知市スポーツ推進計画」に基づき、トップアスリートと直接交流できるバドミントン教室を開催した。施設管理は、労務単価や燃料費等の高騰に伴う支出増を受けながらも、バリアフリー補修計画等を実施した。また、複数回の台風被害に対しての迅速な復旧対応により、プロ野球キャンプ等に支障のない運営を行う事ができた。さらに、職員研修については新規受講(指導:水泳指導管理士1名・上級救命講習2名・ノルディックウォーキング1名 / 管理:スポーツ用器具管理アドバイザー3名・プール安全管理者II種1名・木製床管理者1名 / 整備:スポーツターフ管理者1名)をし、担当業務の資質向上を図った。

(3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
27	<p>施設利用者や自主事業開催数は増加傾向にある。市民ニーズや高知市スポーツ推進計画を反映した新たに高知市スポーツ推進指導員指導者育成事業(水泳部)などの教室を開催し高い評価を得ている。</p> <p>施設の維持管理については、プロ野球キャンプをはじめ各種大会受入れを適切に行ったほか、プールを中心に機器の入替修繕を行い、営業に支障がないよう努めた。また、脱水機・更衣室すのこの入替、歩行器の追加設置等を行うなど、サービス向上を図った。</p> <p>「履行の確認」の「職員の研修」では、実施できなかった研修もあるが、「プール管理責任者講習会」等の外部研修を受講した。</p> <p>地域住民との良好な関係を継続するとともに、地元中学の体育館耐震工事による部活動の受入れを通常の利用状況と調整</p>
28	<p>実業団等の全国大会の受け入れにより施設利用者数の増加を図った。また、自主事業においては、高齢者事業(テニス教室、ラージボール卓球等)の開催数を増やす新たな取組みを実施した。</p> <p>施設管理については、事業計画に基づき施設利用者へのニーズに対応できる環境の整備に努めた。</p> <p>今後は、地域住民との良好な関係を継続しながら管理運営を行い、委託業者への指導も含めた研修等により、更なるサービスの向上に努めていただきたい。</p>
29	<p>平成29年9月に多目的ドームが供用開始となり施設利用者数は増加となった。自主事業については、昨年度と同水準の事業を実施し、トップアスリートと直接交流ができる機会を提供できた。また、施設管理においては、事業計画書に基づく水質管理及びバリアフリー補修計画等に伴う修繕を行ったが、「看板・利用案内など」の項目における課題があり、ドームを含むパンフレットの作成等、更なるサービス向上に努めていただきたい。</p>

10 総合評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60.0 点	100 %	S
(2) サービスの質の確認	45 点	32.0 点	71 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15.0 点	100 %	
合計	120 点	107.0 点	89 %	

評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で2点以下の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、またはそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	概ね事業計画書・仕様書に沿った適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

(2)総評

適正な管理運営がなされていると考えます。新規施設(しらさぎドーム)の運用開始に伴う新たなニーズを把握し、事業実施に活かすことにより、利用者増加に繋がる取組の実施を期待します。

(3)総合評価実績

年度	評価結果	総合評価点数	総 評
27	S	— 点	自主事業の充実が図られ、利用者も増加するなど、適正な管理運営がなされていると考えますが、職員研修については、計画的な実施に努めてください。今後も利用者ニーズの把握を行い、市民サービスの更なる向上に努めていただくようお願いします。
28	S	106.0 点	適正な管理運営がなされていると考えます。自主事業についても施設の空き状況を活用して実施されており、今後も利用者増加に繋がる取組の実施を期待します。
29	S	107.0 点	適正な管理運営がなされていると考えます。新規施設(しらさぎドーム)の運用開始に伴う新たなニーズを把握し、事業実施に活かすことにより、利用者増加に繋がる取組の実施を期待します。

11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善時期	改善に向けた対応
体育センター駐車場区画線の剥離	平成30年度～	平成29年度実施分は、後述の北駐車場の一部補修で終了したため、継続取組とする。予約状況と調整のうえ実施(対応者:事業団)
場内案内板(施設配置図・駐車場等)の更新	平成30年度～	北駐車場等への案内表示(事業団)
避難場所案内表示の新設	平成30年度～	高齢者や子ども等にも配慮した表示(事業団)
北駐車場区画線の剥離	平成30年度～	平成29年度に一部のみ補修したため、継続取組とする。予約状況と調整のうえ実施(事業団)
トレーニング機器の経年劣化	平成30年度～	備品申請・リース契約等の継続協議(事業団・スポ振)
打撃練習場ピッチングマシンの経年劣化	平成30年度～	平成29年度に軟式マシン(1台)を備品購入。その他(硬式2台・軟式1台)についても、備品申請・リース契約等の継続協議(事業団・スポ振)
AED増設(多目的ドーム・打撃練習場等)	平成30年度～	備品申請・リース契約等の継続協議(事業団・スポ振)
アリーナ水泳大会競技システムの経年劣化	平成30年度～	リース契約等の継続協議(ソフトウェア・計測機器等)(事業団)
利用マナーブックの配布	平成30年度～	平成29年度に作成するも、レイアウト・内容の精査遅延のため配布に至らず、継続取組とする(事業団)
テニスコートスタンドの鳥害	平成30年度～	場内清掃(週5日)による定期対応を継続。照明灯上部に鳥害防止器具の設置等を継続協議とする(事業団)
物品貸出ブースの設置	平成30年度～	傘・自転車空気入れ・防犯ブザー・万歩計等(案)(事業団)
子ども憩いスペースの設置	平成30年度～	積木・ブロック・絵本・お絵かきボード等の併設(案)(事業団)
エレベーターチェアの設置	平成30年度～	災害時の非常用品保管(事業団)
「消防団応援の店」参加	平成30年度～	継続協議(プール等の免除利用)(事業団)
アリーナ床転換システム機器の経年劣化	平成30年度～	継続協議(レーザー測距機・無線操作機)(スポ振)
アリーナ体育館床面の経年劣化	平成30年度～	床転換作業と調整のうえ継続協議(スポ振)
体育センター床面の経年劣化	平成30年度～	継続協議(スポ振)
テニスコート人工芝の経年劣化	平成30年度～	継続協議(スポ振)
50mプール可動床制御システム更新	平成30年度～	継続協議(スポ振)